

# 令和7年度 川口市国民健康保険「お薬バッグ」事業実施結果について

川口市国民健康保険課

## 1 実施前アンケート（回答 72 件：回答率 100%）→別紙 1

事業参加のきっかけは、広報紙を見ての応募がほとんどであり、バッグが配布されることで、興味を持ったかたが多い。また、かかりつけ薬局があるとの回答が全体の約8割となっている。薬に関する相談は薬局よりも医師に確認したことがあるかたの割合が高く、副作用や飲み忘れについての悩みが多かった。

## 2 実施後アンケート（回答 38 件：回答率 52.8%）→別紙 2

「事業参加登録後、医療機関にお薬について相談しましたか」の問いに対して、薬局・医師に相談したという回答が半数程度あり、相談しやすかった、不安や悩みごとが解消したという回答がほぼ同数となった。しかしながら、一部、医師や薬局への相談のしづらさや、不安や悩みが解消しなかったという回答も見受けられた。

服薬相談サポートとしては、相談のしやすさや、わかりやすい説明を求める意見が多かった。

## 3 レセプトデータの検証

### （1）検証期間

- ・実施前：抽出期間（令和7年4月から6月）
- ・実施後：検証期間（令和7年11月から令和8年1月）

### （2）対象者のうち、期間中に資格を喪失した者を除き、調剤レセプトデータが存在する 54 名を検証対象とした。

市全体の調剤レセプトの総点数で比較すると実施後の方が高いが、医療機関に相談した対象者で集計すると、実施後の方が低い結果となった。

| 調剤決定点数       | 市全体          | 対象者      | 内訳       |          |
|--------------|--------------|----------|----------|----------|
|              |              |          | 相談あり     | その他      |
| R7.4月～6月     | 180,364,991点 | 328,296点 | 93,757点  | 234,539点 |
| R7.11月～R8.1月 | 181,429,821点 | 317,260点 | 80,648点  | 236,612点 |
| 差分           | 1,064,830点   | △11,036点 | △13,109点 | 2,073点   |
| 増減割合         | 100.6%       | 96.6%    | 86.0%    | 100.9%   |

なお、「お薬バッグ」配布者にかかる「ポリファーマシー対策事業」と連携した薬局からの報告の提出はなかった。

## 4 全体を通して

配布した「お薬バッグ」は、お薬相談以外で活用したという回答が多かった。しかしながら、バッグ配布を機に事業参加を希望し、医療機関に相談したかたもいることから、きっかけづくりとしての効果は見込めると考える。

令和8年度の実施に向けては、本年同様、重複多剤投与者に対して、かかりつけ医・かかりつけ薬局の重要性について、周知・啓発を実施するとともに、市全体への効果的な広報について検討するものとする。

# お薬バッグ 事前アンケート集計結果

令和8年3月

## アンケート概要

- ▶ お薬バッグ事業への参加を表明していただいたかたを対象に、バッグ配布前にアンケートを実施
- ▶ 事業への参加募集期間  
令和7年10月1日から11月28日
- ▶ 対象者72名のうち72名から回答あり

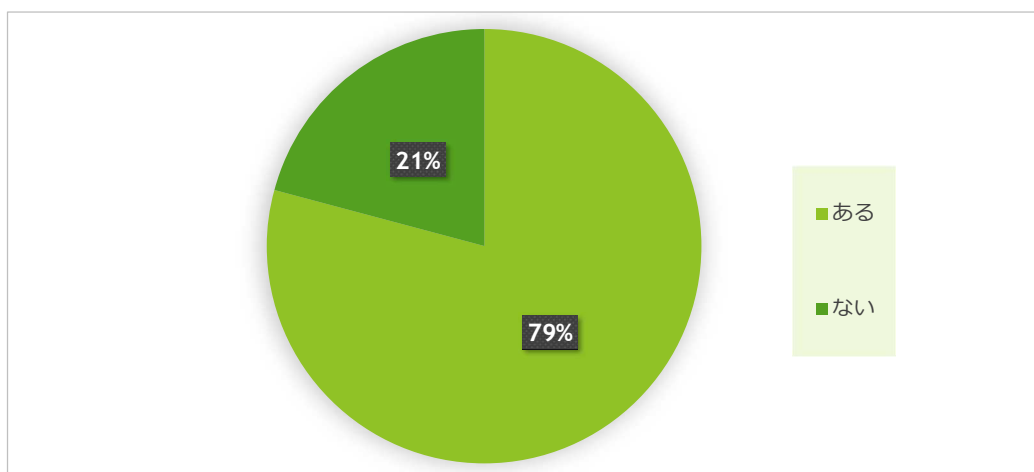
## Q 1. 本事業に参加するきっかけを教えてください（複数回答可）

| 選択肢             | 回答数 |
|-----------------|-----|
| 市の広報紙を見て        | 71  |
| 市のホームページを見て     | 4   |
| 飲み残しのお薬があったから   | 7   |
| お薬についての相談をしたいから | 5   |
| バッグが配布されるから     | 15  |
| その他             | 1   |

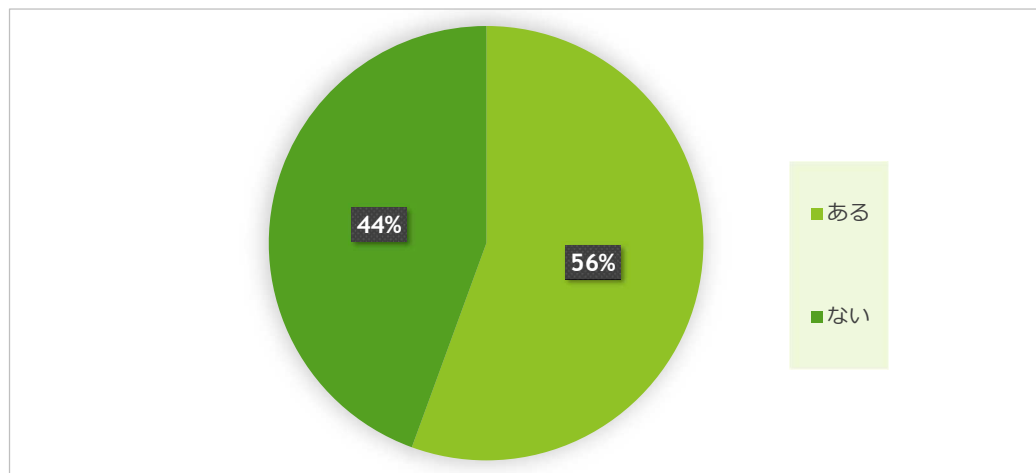
### その他回答

- ▶ 家族で旅行する時や外出する時にお薬の持ち運びに困る事があるため。

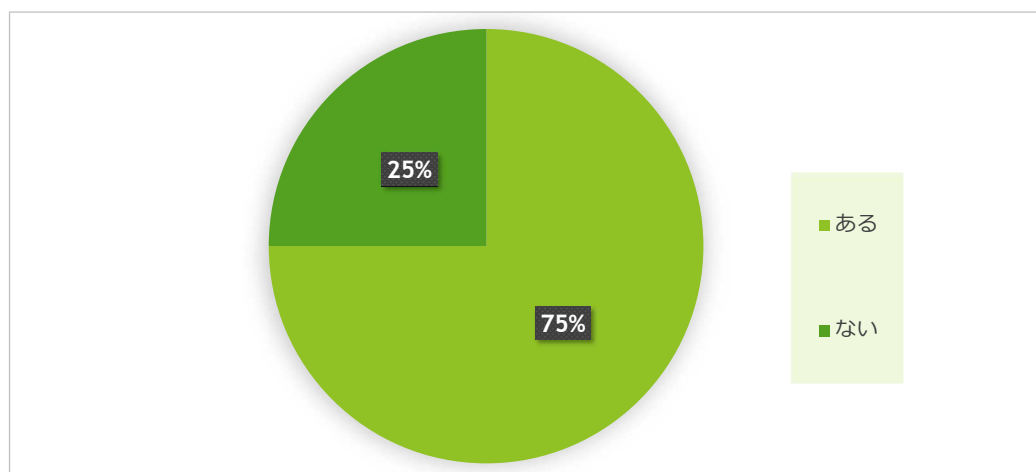
## Q 2. かかりつけ薬局がありますか



Q 3. 薬局にお薬について相談したことはありますか



Q 4. かかりつけ医にお薬について相談したことはありますか



## Q 5. あなたのお薬についてのお悩みはどのようなものですか（複数回答可）

| 選択肢              | 回答数 |
|------------------|-----|
| 残っているお薬が多い       | 18  |
| 処方されるお薬が多い       | 20  |
| 副作用が心配           | 30  |
| お薬を飲み忘れることがある    | 23  |
| 特になし             | 5   |
| その他（個別の回答は次ページに） | 5   |

## Q 5. あなたのお薬についてのお悩みはどのようなものですか（複数回答可）

### その他回答

- ▶ いつまで飲んでいいのか、やめ時がわからない事がある
- ▶ 別の診療科で処方された薬の飲み合わせについての確認
- ▶ 最近、効果が薄れて来た気がする
- ▶ 突然風邪引いて処方薬が増えた時
- ▶ 残った処方薬の有効期限が不明

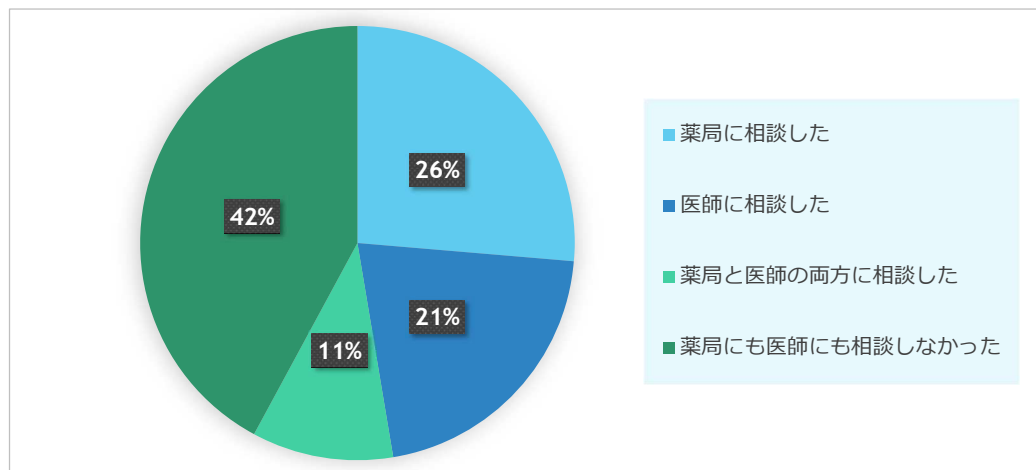
# お薬バッグ 配布後アンケート集計結果

令和8年3月

## アンケート概要

- ▶ お薬バッグ事業に参加いただき、令和7年10月から11月にかけてバッグを配布したかたを対象にアンケートを実施
- ▶ アンケート実施期間  
令和8年1月21日（水）～2月16日（月）
- ▶ 対象者72名のうち38名から回答あり

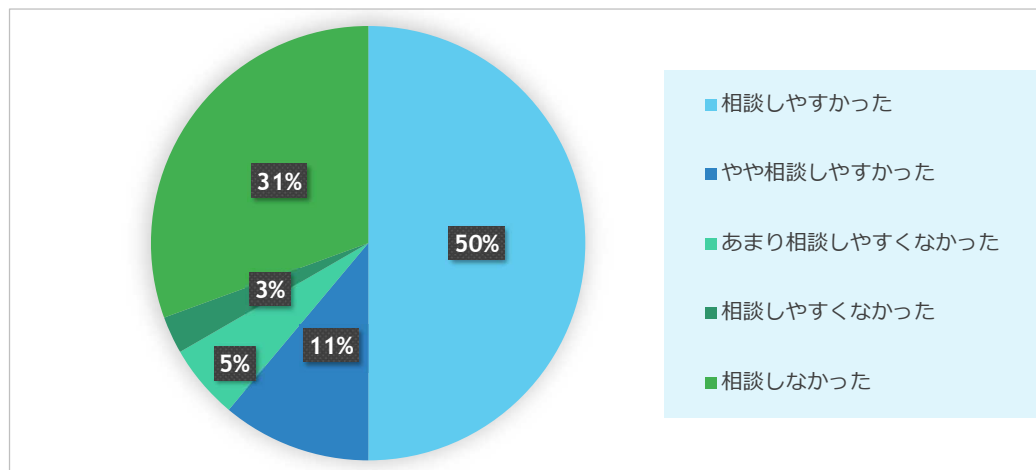
## Q 1. 事業参加登録後、医療機関にお薬について相談しましたか



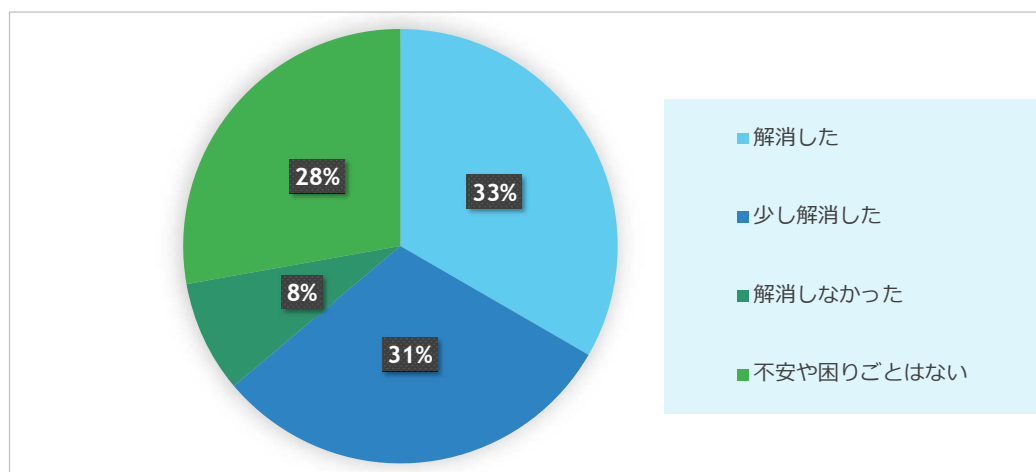
## Q 2. 相談しなかった理由があれば教えてください（Q 1で「相談しなかった」かたに対しての設問、自由記述）

| 回答                                                                  | 回答数 |
|---------------------------------------------------------------------|-----|
| 特に問題ないため                                                            | 5   |
| 診察に行っていないため                                                         | 1   |
| 自分で管理できるため                                                          | 1   |
| 相談し辛いため                                                             | 1   |
| 医師が診察し、処方する薬（処方薬の説明を受けるし、「処方薬の説明書」も添付済）に対して、何を聞き、何を相談するのか意味が理解できない。 | 2   |

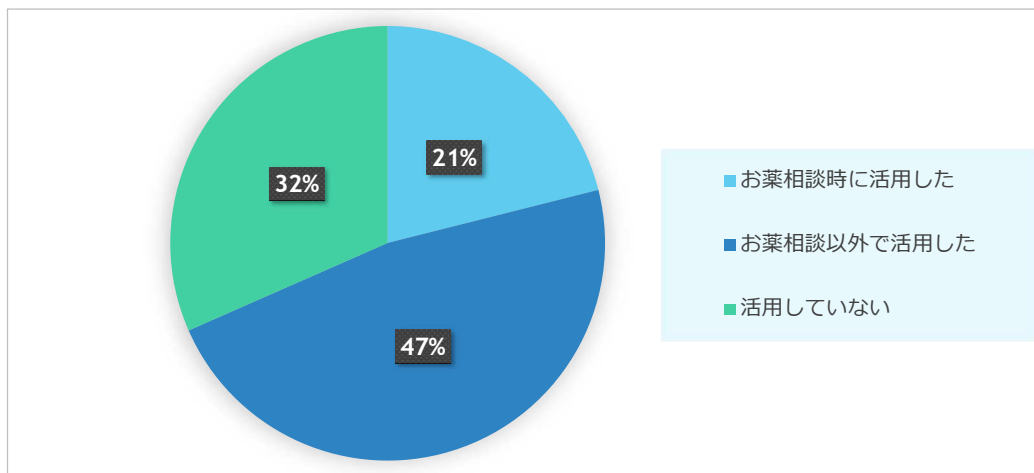
### Q 3. 薬局や医師への相談のしやすさはいかがでしたか



### Q 4. 薬局や医師への相談により、お薬に関する不安や困りごとは解消しましたか



## Q 5. 「お薬バッグ」は活用しましたか



## Q 6. 服薬相談のサポートとして、市や医療機関にどのようなことを期待しますか。（自由記述）

| 回答                                                                                            | 回答数 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 特になし                                                                                          | 7   |
| 医療機関には薬の目的や必要性など詳しい情報を教えて欲しい。                                                                 | 1   |
| 現在服薬中の薬の見直しができればいいですね                                                                         | 1   |
| 質問をしやすい環境であるといい。LINEを活用した薬局の推進。その時なくても後から疑問が浮かぶことがあるので、LINEでいつでも質問できたり、体調に関する不安に答えてもらえるとうり難い。 | 1   |
| 複数の医療機関を利用した場合の自動的な情報共有。いちいち患者から説明は多分大変。                                                      | 1   |
| 副作用 飲み合わせについて 紙で記載だけでなく、口頭でも伝えてほしい                                                            | 1   |
| 相談のしやすさが一番かと思う。                                                                               | 1   |
| 今飲んでる薬は私にとってベストな薬なのか?わからない事や疑問などを相談に乗ってもらえたら良いなあとと思います                                        | 1   |
| 薬の飲み合わせ等、分かりやすく説明してもらえる                                                                       | 1   |
| 小さな疑問も真摯に向き合ってほしい                                                                             | 1   |